

# 連携

## 第84号

### 病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

### 基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます



## 当院における、治療可能な疾患に関して

眼科科長 浅野 良視

2022年度に東北医科薬科大学若林病院眼科より栗原中央病院へ赴任となりました浅野良視と申します。幼少期より縁のある土地故、赴任したことに大きな意義を感じております。眼科全般に対して、検査、治療、必要に応じて他院への紹介を行っております。

当科では地域との連携を重要視しております。有眼症状や健診による一次スクリーニングに対して、まずは近医眼科への受診（かかりつけ医の作成）、次段階として検査や治療のため当院に紹介いただき、さらに高度な治療が必要なものは大崎市民病院、東北大学病院、東北医科薬科大学病院などへ紹介させていただきます。当院の現状としましては、

外来治療として予約制の後発白内障、網膜光凝固術などのレーザー手術、抗VEGF抗体やステロイドなどの注射を行い、毎週木曜日に白内障（1泊2日のみ）を中心として、翼状片、脂肪ヘルニアなどの結膜疾患、老人性の眼瞼下垂や下眼瞼内反症など眼

瞼疾患の手術治療を行っております（若年の整容目的の際は他院を推奨しております）。また、総合病院として、当院内科と連携して網膜症のフォローなども行っており、内科が近医紹介となる際には、患者様の通院負担を減らしつつ、地域として長期的なフォローができるようかかりつけ眼科の作成を働きかけております。特に糖尿病網膜症は自覚症状が出る頃には進行していることも多く、糖尿病が指摘された際に眼科的診察を行うことが推奨されます。また、前提として内科的治療を行っていただき、血糖安定後も定期的な眼底フォローを行うことは非常に大事ですが、あまり周知されていないことが多く、その指導を行うことも担っております。

昨年までと同様に白内障手術希望患者様は勿論のこと、今年度からは眼瞼疾患などもご紹介いただいておりますので、希望患者様がいらっしゃいましたら、当院までご紹介いただければ幸いです。



## アルコール依存症 院内研修会 報告

令和4年10月24日(月)当院内科副医長の岡田将平先生を講師にアルコール依存症についての院内研修会を開催しました。

アルコール依存症の概要から心身にもたらす影響、依存症の対応について分かりやすく講話頂きました。またアルコール関連問題のスクリーニングテスト AUDIT を行い、問題飲酒の程度を判定しました。自身の飲酒量を知ることで、断酒・減酒や専門医の治療へ繋げることができる

ことが分かりました。アルコール依存症は身体への影響だけではなく、欠勤や失職などの職業上の問題、不和や離婚などの家庭問題など、様々な問題が関連してきます。アンケート結果からも「アルコール関連問題で何もかも失うリスクがあることが分かった」「放置すると危険な病気であることが分かった」などの意見が聞かれました。アルコール依存症に罹患する患者が多数いるにもかかわらず、専門的な治療を受けている患者が少ないことも分かりました。とても身近な病気であるのに治療につなげていないことに驚きました。



アルコール依存症は誰にでもなりうる病気で、医師だけでなく、看護師、相談員、リハビリ、栄養科等との連携が欠かせない。チームで関わっていく必要があることを学びました。



## 連携のつどい “よらいん” 実施報告

令和4年11月8日(火)2年9か月ぶりに連携のつどい“よらいん”を開催しました。今回は栗原市内の居宅介護支援事業所・包括支援センターを対象に「ケアマネさんどうなりました？栗原中央病院こうなりました！これからどうしますっ！？～コロナ禍で色々変わった体制を聞いてみよう～」をテーマに、当院の紹介とグループワークを行いました。

千葉連携室長より、新体制となった連携室の紹介と各病棟の特徴などをお話させて頂きました。グループワークでは看護師と社会福祉士が各グループに入り、コロナ禍で変わった事業体制やその対応について、それぞれの立場で情報交換・共有していました。終始和やかな雰囲気の中で研修会が行われ、参加者からは



リモート研修が多い中、「実際に顔を合わせて話ができて本当に良かった。」との声がたくさん寄せられました。また「病状面談やリハビリ見学に同席することで、退院後の支援にとっても役立っています。」とのお声も聞かれました。

コロナ禍で対面・集合研修が難しい中でも、感染対策を行いながら顔の見える連携を築いていくことが重要だと感じた研修会でした。



## 医療安全管理室の活動について

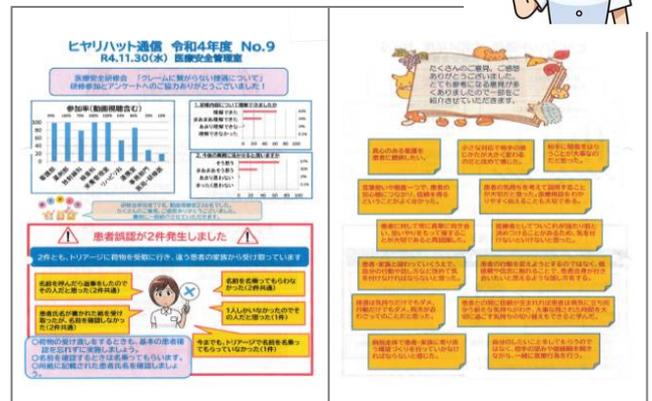
医療安全は1999年に全国で大きな医療事故が立て続けに起こったことをきっかけに「医療事故はあってはならないこと」という考えから「医療事故は起こりうる。チームや組織全体の在り方を改善しなければ防ぐことはできない。」という考えに変化していきました。

当院医療安全管理室スタッフは、室長の中川緩和ケア部長と副室長の熊谷(専従リスクマネジャー)です。医療安全管理室が中心になり、患者さまが安全な医療を受けられるよう組織横断的に活動を行っております。

主な活動の一つとして、ヒヤリ・ハット事例の集計と改善策の立案があります。ヒヤリ・ハットとは名前の通り「ヒヤリとした」、「ハットした」事例です。小さな事例の段階で対策を立てることで医療事故を未然に防止します。どのような危険が潜んでいて、どのような注意が必要かを知ることも医療事故防止にはとても大切です。報告されたヒヤリ・ハット事例と対策案を各部署に配布することで医療事故に努めております。

毎週木曜日に医療安全対策委員会を行い、報告されたインシデント事例について話し合いを行っています。また月に1回、医療安全管理委員会、リスクマネジメント部会、各部署での医療安全カンファレンスを開催しています。リスクマネジメント部会では各部署から計24名のメンバーが集まり、インシデント統計や重要なインシデント事例の共有を行っています。また、病棟ラウンドを行い医療安全における職場風土の活性化に努めています。

定期的にヒヤリハット通信やヒヤリハット事例を発行しています。



年間を通して様々な研修を行っており、今年度は全体研修会として、患者誤認を防止するための確認方法についての出前講座や、やまと在宅診療所理事長の田上佑輔先生を講師に「接遇について」研修会を開催しました。また今年度からは医療安全マニュアルにハラスメントに

関する内容も新たに組み込まれ、ハラスメント相談窓口の役割も担っています。

患者様が安全でかつ良質な医療が受けられるように環境を整え、同時に医療事故を未然に防止し安全な医療を提供できるよう努めて参ります。



## がんサロン「サロン de よらいん」活動報告

新型コロナ感染予防のため休止していた、がんサロン「サロン de よらいん」を昨年度より感染状況をみながら不定期で開催して参りました。

今年度は感染防止対策として、開催時間の短縮、飲食は行わず、広い会場を使用しながら8月2日、また12月12日に開催することができました。以前よ

り参加頂いておりました臨床宗教師の方々や地域医療連携室顧問の木田先生、作業療法士にも参加いただき、和やかなひと時を過ごすことができました。



参加者からは、「すごく楽しみにしていたの」「みんな元気そうで安心しました」などの声が聞かれ、再会を喜ぶ姿が見られました。また休止前から好評だった木田先生の「日本の神話」

についてのお話や臨床宗教師さんのお話を聞き、がんサロンを楽しみました。まだまだ定期開催とはいきませんが、今後も継続し交流の場を作っていきたいと思います。



### 《お知らせ》

以下の疾患・診療科は、**予約診療となっております**。ご紹介の際は地域医療連携室へFAXにてお申込み下さい。また当日受診が必要な患者様につきましても事前にお問い合わせください。

内 科	消化器疾患 脳神経内科	糖尿病疾患 心療内科	
外 科	血管外科	甲状腺外科	乳腺外科
整形外科	肩外来	スポーツ外来	
眼 科	眼科		

なお、当日の診療状況、検査、救急対応等で診察の順番が前後することやお待たせする時間が長くなる場合があります。

ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【地域医療連携室】

○外来予約に関するお問い合わせ TEL0228-21-5335 FAX0228-21-5336

○その他のお問い合わせ TEL0228-21-5330（代表）



#### 【編集後記】

今年もあっという間に終わろうとしています。やはりコロナに振り回された1年だった…という印象は拭えないですね。来年は「癸卯年」。成長が期待される年ともいわれているそうです。医療技術の成長と共にコロナの終息を願いたいです。

#### 栗原市立栗原中央病院

〒987-2205  
宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地  
（代表）TEL：0228-21-5330 FAX：0228-21-5350  
地域医療連携室  
（直通）TEL：0228-21-5335 FAX：0228-21-5336  
<http://www.kurihara-central-hp.jp/>